

(8) 介護人材の確保及び介護現場の生産性向上の推進

現状と課題

今後、高齢化による介護サービス需要の増大と生産年齢人口の減少が見込まれることから、介護サービスの担い手となる人材の確保は厳しい状況が続くことが予想されます。

福津市をはじめとする行政に、今後強化してほしい取り組みとして望むことを尋ねた事業所等調査結果においても、「介護人材の確保・人材育成」が58.7%と、最も高い回答割合となっており、事業所運営における最大の課題となっています(p.60参照)。また、「事業所が提出する書類の簡素化」が42.9%と、それに次ぐ回答割合となっています。

さらに、介護人材の確保及び業務の効率化を進めると同時に、高齢者が介護を必要としない状態を維持していくこと、介護の状態が重くならないよう維持・改善していくことも重要です。

今後の取り組み

現状の事務手続きにおける負担を軽減する、サービス提供時における人手不足を解消する、将来の介護の担い手にアプローチするという視点から取り組みを進めます。介護サービス事業者と連携を図りながら、「介護」に関する職に対し、具体的にイメージできるよう積極的な情報発信を行います。また、市公式ホームページを活用し、事業所の手続き等や事業を運営する上で必要となる情報を充実させる等、事務負担の軽減を図ります。引き続き、国や県の関係機関等と連携を図りながら、外国人人材活用を含む介護人材確保のための情報提供、介護ロボットやICT機器の活用による介護職員の負担軽減を促進します。

1 人材確保のための情報提供等

多様な人材が活躍できるよう、介護の職場に関する情報の提供を行います。また、ハローワーク等と協力し就職相談会や介護施設等の見学会を実施します。

また、介護職員の育成・専門性向上のための研修や、医療と介護の連携強化を図る研修などを、より身近な場所で受けられるよう環境整備を行います。

さらに、子どもたちが将来なりたい職業の一つとして、介護等福祉の仕事を考えることができるよう、市内介護サービス事業所と連携し、福祉の仕事入門講座(介護職編)の出前講座プログラムを作成し、高等学校や小・中学校に対し働きかけます。

外国人人材の雇用について、具体的にイメージできるよう先進的事例から活用のノウハウを学び、その効果等についての情報を共有し、今後について検討します。

2 介護ロボットやICTの活用支援

介護の現場で働く職員が長く働き続けることができるよう、人材不足の時代に即した介護現場の革新及び生産性の向上を図り、本来業務に注力できる環境づくりが重要です。介護の質は維持しながら介護職員の身体的・精神的負担を軽減し、効率的な業務運営ができるよう、国や県と連携しながら介護ロボットやICT機器の活用を支援します。

3 事業所への支援

働きやすい環境を整えることや、生産性の向上等を通じた労働負担の軽減、元気高齢者等の力を活用した労働負担軽減等について事業所と具体的方法を検討し、高齢者等の力を活用する仕組みをつくります。介護保険事業者の協議会など事業者間の連携を促進すると同時に、介護事業所が相互連携して取り組むことに必要な支援を行います。